

問1 710年、現在の奈良県に建設され、奈良時代の政治の中心となった都を何という？

1. 藤原京 2. 平城京 3. 長岡京 4. 平安京

問2 奈良時代、仏教の力によって国を災いから守ろうとする思想を何という？

1. 仏国土思想 2. 鎮護国家 3. 神国思想 4. 王権神授説

問3 大伴家持らが編纂に関わったとされる、現存する日本最古の和歌集を何という？

1. 新古今和歌集 2. 万葉集 3. 古今和歌集 4. 懐風藻

問4 人口増加により不足し、開墾のきっかけとなった、政府が農民に与えた土地を何という？

1. 口分田 2. 公田 3. 職田 4. 位田

問5 743年に出され、開墾した土地を永久に私有することを認めることで、土地の私有化を広めた法律を何という？

1. 大化の改新 2. 三世一身法 3. 墾田永年私財法 4. 大宝律令

問6 郡司が指揮下に入っていた、中央から派遣された地方長官のことを何という？

1. 国司 2. 防人 3. 郡司 4. 里長

問7 土地や人民を国家が支配し、法に基づいて政治を行う仕組みを何という？

1. 官僚制 2. 律令制 3. 徴兵制 4. 封建制

問8 正倉院で見られる、三角材を組み上げて湿気を防ぐ建築様式を何という？

1. 寝殿造 2. 書院造 3. 校倉造 4. 数寄屋造

問9 聖武天皇が鎮護国家の象徴として建立を命じた、奈良にある寺院を何という？

1. 法隆寺 2. 東大寺 3. 興福寺 4. 薬師寺

問10 防人たちが詠んだ歌などが収められている、日本最古の歌集を何という？

1. 古今和歌集 2. 懐風藻 3. 万葉集 4. 新古今和歌集

問11 聖武天皇が鎮護国家を目的として、全国各地に建立させた官立の寺院を何という？

1. 国分寺 2. 氏寺 3. 官寺 4. 尼寺

問12 令制国に派遣され、徴税や裁判といった地方の行政を担った官吏を何という？

1. 郡司 2. 里長 3. 防人 4. 国司

問13 奈良時代、唐の文化の影響を強く受けて華やかに発展した文化を何という？

1. 白鳳文化 2. 飛鳥文化 3. 天平文化 4. 国風文化

問14 『日本書紀』で、神代から歴史が記録されている最後の天皇は誰？

1. 持統天皇 2. 推古天皇 3. 称徳天皇 4. 元明天皇

問15 701年に制定され、天皇を中心とした中央集権的な政治体制を整える基礎となった律令を何という？

1. 大化の改新 2. 飛鳥浄御原令 3. 大宝律令 4. 養老律令

問16 律令制において、中央から派遣された国司のもとで、現地の有力な豪族が任命された役職を何という？

1. 郡司 2. 惣領 3. 国司 4. 里長

答え合わせ・解説

問1	答え 2 平城京	710年に元明天皇によって遷都された計画都市です。中国の唐の都である長安を手本にして設計され、整然とした道路が碁盤の目状に配置されていました。政治・経済の中心地として繁栄し、遣唐使などによって国際的な文化が開かれました。
問2	答え 2 鎮護国家	鎮護国家とは、仏教の加護によって国を安定させ、平和を守ろうとする思想です。聖武天皇は、この思想を国家運営の柱とし、東大寺に巨大な大仏を造立しました。また、あわせて全国に国分寺や国分尼寺を建立させるなど、仏教による統治を強めました。
問3	答え 2 万葉集	万葉集は、現存する日本最古の和歌集です。歌人としても有名な大伴家持が編纂に大きく貢献したとされており、奈良時代末期までに完成しました。収録されている歌は、天皇から防人、農民まで非常に幅広い階層の人々によって詠まれたものであり、当時の多様な人々の感情や生活文化が生きて表現されています。
問4	答え 1 口分田	口分田（くぶんでん）は、戸籍に基づき、6歳以上のすべての人々に政府が支給した耕作地です。農民はこの田から上がる収穫に対して税（租）を納める義務がありました。しかし、奈良時代に入ると人口が増加したため、国家が支給できる田が足りなくなり、新たな開墾が進められる要因となりました。
問5	答え 3 墾田永年私財法	政府は、743年に「墾田永年私財法」を制定しました。これにより、新しく開墾した土地の私有が永久に認められるようになりました。それまで制限されていた土地所有が可能となったため、人々は競って開墾を行い、生産性を高めようとしていました。
問6	答え 1 国司	国司は、中央政府の意向を地方へ伝え、郡司を管理することで徴税や戸籍管理を行いました。郡司の実務を監視し、定期的に中央へ報告する義務がありました。
問7	答え 2 律令制	律令制は、中央に省を置く官僚機構や、地方への国司の派遣、戸籍をもとにした班田収授法などの制度によって構成されています。これにより、国家による土地と人民の直接的な統治が実現しました。
問8	答え 3 校倉造	校倉造は、断面が三角形の木材を井桁（いげた）に組んで壁を作る工法です。湿気が多いときは木材が膨らんで隙間をふさぎ、乾燥すると木材が縮んで風を通すという、自然の作用を利用した高い調湿機能を備えています。
問9	答え 2 東大寺	東大寺は、743年の大仏造立の詔により、聖武天皇が中心となって建立されました。この寺は全国の国分寺の総本山としての役割を担い、鎮護国家の象徴として位置づけられました。完成した大仏は、当時の人々の信仰心を集め、国家統一の精神的な拠り所となりました。
問10	答え 3 万葉集	万葉集は、約4500首の歌を収めた日本最古の歌集です。特徴は、天皇や貴族だけでなく、防人や農民といった一般庶民の素朴で力強い感情がそのまま記されている点にあります。防人が詠んだ「防人の歌」には、国を守る誇りと家族への思慕が混ざり合い、当時の社会の現実がリアルに表現されています。
問11	答え 1 国分寺	国分寺は、聖武天皇が全国60余国に命じて建てさせた寺院です。各国の国分寺と国分尼寺は、東大寺を総本山とするネットワークの一部として機能しました。これにより、地方にまで仏教の教えと国家の影響を浸透させ、仏の力で国の安定を図りました。
問12	答え 4 国司	国司は、国府を拠点として、租庸調の徴収や公共事業、裁判など地方における行政実務を一手に担いました。これにより、中央政府の命令が地方のすみずみまで行き届く仕組みが完成しました。
問13	答え 3 天平文化	天平文化は、東大寺大仏の建立や唐招提寺のような壮麗な建築、精巧な仏像彫刻などが特徴です。また、『古事記』や『日本書紀』の編纂など、歴史書や文学においても大きな発展が見られました。
問14	答え 1 持統天皇	日本書紀は、奈良時代の720年に完成した歴史書です。神話の時代から始まり、持統天皇の時代までの歴史を詳細に記しています。中国の歴史書の記述様式を取り入れ、非常に精緻な記録となっています。
問15	答え 3 大宝律令	701年に制定された大宝律令は、国家の基本となる法律であり、天皇を頂点とする中央政府と、その下に置かれる地方行政の組織や規則を定めました。これにより、戸籍の作成や租税の徴収、官僚の組織などが体系化され、律令国家としての体制が強固なものとなりました。
問16	答え 1 郡司	「郡司」は、地方の行政単位である郡の実務責任者です。かつて地方の有力豪族であった人々が任命されました。都から派遣された「国司」をサポートし、税の徴収や戸籍の管理などの実務を担当しました。